

業務上疾病事例（平成 27 年）

| 番 号 | 業種 | 発生月・年 齢 | 疾 病 名 (休業日数) | 発 生 状 況 |
|-----|---------------------|-------------|-----------------|--|
| 1 | その他の化学工業 1-8-9 | 2 月 40 代 | 有機溶剤中毒 (4 日) | 製造設備の反応容器（縦型円筒形、内径 1.4m、高さ 1.9m）に入り、トルエンを染み込ませたウエスで容器内面の汚れを払拭する作業を 1 人で行っていたところ、揮発したトルエンの蒸気が容器内部に充満し、意識を失った。災害発生時、反応容器内の換気が行われておらず、被災者は呼吸用保護具を使用していなかった。 |
| 2 | 電気機械器具製造業 13-2-1 | 4 月 20 代 | 薬傷 (4 日) | 過酸化水素水の配管を修理して約 10 分後に、配管の一部が抜け落ちたため過酸化水素水が吹き出し、顔面にかかって薬傷（化学熱傷）を負った。 |
| 3 | 社会福祉施設 13-2-1 | 5 月 20 代 | 急性腰痛症 (2 週間) | 社会福祉施設において、利用者を布団から車椅子への移乗介助していた際、利用者がバランスを崩したため全体重がかかり、腰に無理な力が加わって腰を負傷した。 |
| 4 | 窯業土石製品製造業 1-9-9 | 8 月 50 代 | 熱中症 (半年以上) | 午前 8 時から屋外で除草作業を開始し、午前 11 時 40 分に倒れているところを発見され、救急搬送された。熱中症による多臓器不全と診断された。当日の天候は晴れ。当日午後 12 時半頃に現場で実測した気温は 38℃。当日 11 時における WBGT 値（暑さ指数）は、環境省の「熱中症予防情報サイト」によると 30.6℃であった。 |